

ねにもつタイプ

岸本佐知子著

タイトルから想像した時は、愚痴っぽい文章が並んでいるのでは・・・と思いました。しかし読み進めると、おもしろい！抱腹絶倒とは言えないが、くすりと笑えるところが随所に散りばめられています。

幼い頃の思い出、普通に生活して感じてたこと、不思議に思ったことなどが正直に書かれていると感じました。どれも全く同じではないけれど、何となく分かる・・・そんな気持ちになるものばかりでした。例えば『電車でたまたま乗り合わせた見知らぬ他人を見て、その人の人生やプロフィールを勝手に想像してみる』というところ。私の場合は、車に乗っているとき、隣に止まった人や家族が今なぜここにいるのか、を想像してみることがありました。でも、著者はもっと超越しています。『仕事（翻訳）をしないといけないのにコアラの鼻の材質が気になる』というのだと、これは想像不可・・・。どれもこれも「これってどんなん？」「こつなつたらおもしろいやろうなあ」など興味を持って丁寧に生活しているからこそ、不思議に思うことがぐんと広がるのでは、と思いました。

また、著者の不思議な世界感を程よく伝えてるのが挿画です。奥付を見ると、「クラフト・エヴィング商会」とありました。会社？ と思い、調べてみると、吉田篤弘さんと浩美さん夫婦を中心とした制作ユニットだそうです。ちょっと気になったことは調べてみる。著者に見習ってみると結構楽しいです。

Y・C・



掲載の記事・写真・イラスト等の全てのコンテンツ無断複写、転載を禁じます。

(株)ファッションビジネス・御堂筋新聞